見守りが育む地域の安心感

開校60周年 谷戸小学校

校長　野崎　信行

昭和29年、当時の田無市に二番目に開校した学校です。開校時の入学式は田無小学校と合同で、700人の新入生が校庭いっぱいに整列し、盛大に行われました。5月には完成した谷戸小学校の校舎に移りましたが、水泳学習は、田無小学校のプールを借りての授業でした。こうして谷戸小学校の歴史が始まって60年。去る7月2日（水）に記念式典を挙行しました。5・6年生の児童が参加し、合奏・合唱を披露しながら本校の伝統と良さを発表しました。来賓の方々からは、音色や歌声の美しさにたくさんのお褒めの言葉をいただきました。暑い体育館でしたが、児童の立派な態度が光った素晴らしい式典でした。

児童集会でもお祝いをしました。代表委員会の児童の言葉や全員合唱の後、教室に分かれて「60」という数字をテーマに掲げたお店を出し、交流を深める中で伝統と良さを確かめ合いました。

地域の方々にも協力をいただき、6年生は総合的な学習の時間に開校当時の様子を聞き、新聞にまとめました。全校朝会でも開校当時や50周年の様子、還暦・喜寿・米寿・百寿の意味を教えていただきました。

谷戸小学校は、これからも伝統を重んじ、70・80・90そして100年と節目の年をますます盛大に迎えられるように、地域とともに発展していきます。

開校40周年 東小学校

校長　水野　伸一郎

本校は、昭和49年4月1日、保谷第一小学校と碧山小学校から696人の児童を迎え開校しました。

第一回入学式は4月6日に行われ、市教育委員会から入学記念樹として一人一人に「さざんか」の鉢植えをいただきました。また、同年6月30日には、柳沢中学校に続いて、当時の保谷市では二番目の屋上プールが完成しました。

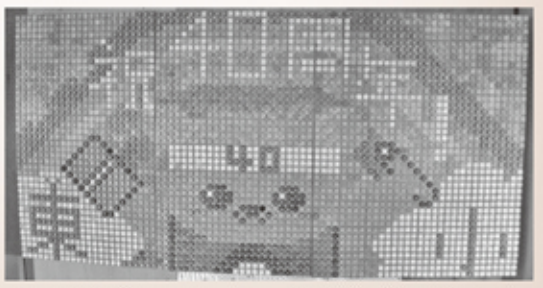
当時は、校舎中央部分だけが完成しており、体育館ができるまでは、畑の中に城のようにそびえ立っていました。

そんな東小学校も開校40周年を迎え、去る10月24日(金)に40周年記念式典を挙行いたしました。

当日は、開校当時から本校を支えてくださった地域の皆様も来賓として参加してくださり、40年間の歩みを懐かしく振り返ることができました。

40周年の今年、あすなろ学級に新たな学級が誕生しました。現在、318人の児童が「東小学習・生活スタンダード」を実践し、元気に落ち着いて生活しています。

これからも、10年20年先を見据えて、「継続・徹底・鍛え育てる!!」教育を学校・保護者・地域が一体となって推進していきます。



40周年記念キャラクター　「東まなぶん」をアートクラブがペットボトルキャップで作成しました。

研究指定校の研究内容と研究発表日

今年度も「西東京市立学校教育研究奨励事業研究指定校」の授業公開及び研究発表会を各学校で開催しています。各学校では教育課題の改善に向けた研究をそれぞれ進めてまいりました。

地域や保護者の皆様にも授業の様子や研究報告をご覧いただき、学校の取組についてご理解いただきますようお願いします。

◆教育指導課　042（438）4075

【2年次校】（授業公開及び研究発表）

学校名	研究発表日・研究主題
谷戸第二小学校	**10月29日（水）** 「運動の楽しさを体感し、意欲的に取り組む体つくり運動」～できる・かかわりあう・工夫する楽しさを味わわせる授業づくり～ 児童自らが意欲的に運動に取り組もうとする意識や態度を育成する体育授業の充実を図っています。
本町小学校	**平成27年1月28日（水）** 「科学的な見方・考え方を身に付ける理科・生活科授業の創造」 理科・生活科の授業における問題解決的な学習の流れの中で、考えの基になる体験活動と考えを深める言語活動を切り口に、児童の考える力を伸ばす実践研究を行っています。
田無第四中学校	**平成27年2月13日（金）** 「すべての生徒を生かす指導の工夫」～個々のニーズに応じた教育支援のあり方～ すべての生徒が満足できる学校生活を送るために、個々の教育的ニーズに応じた、具体的な教育支援の方策について実践研究に取り組んでいます。

【1年次校】（授業公開）

学校名	研究発表日・研究主題
保谷第一小学校	**10月10日（金）** 「できた」「楽しい」「みんなで」運動が好きになる体育学習
栄小学校	**12月3日（水）** 「自分大好き！栄の子」～自分のよさを認め、自己肯定感をはぐくむ授業・活動の工夫～
田無第二中学校	**平成27年1月21日（水）** 「交流活動を通して、自尊感情を高める指導の工夫」
保谷第二小学校 柳沢中学校	**11月19日（水）** 「小・中の円滑な接続を図る学習スタンダードの確立」～言語活動の充実を通して～

教育相談センターのご案内

教育相談センターでは、幼児から高校生年齢までのお子さんについての教育や心身の発達、学校や家庭での心配なこと等について、様々な方法で相談に応じています。相談は予約制ですので、まずはお電話ください。電話での相談も行っています。

教育相談（来室・電話）

臨床心理士などが相談に応じます。いじめや不登校、学業のことなど学校に関する問題や、心身の発達や親子関係の悩みなどについて、プレイセラピーやカウンセリングなどの心理的援助を行いながら、一緒に考えていきます。

就学相談

特別支援学級、特別支援学校への就学や転学、通級やことばの教室への入級の相談をお受けします。お子さんの学習や生活、進路についての不安や悩みなどの相談もお受けしています。

言語相談

発音の誤りやことばの発達に心配のあるお子さんのための言語相談・言語訓練を行います。（実施日は市報でお知らせします。）

巡回相談・教育支援アドバイザー派遣、その他専門家派遣

一人ひとりの子どものニーズに応じた支援を行うために、市立小・中学校及び市立保育園に、臨床心理士等の専門家を派遣し、教員や保育士の相談に応じています。お子さんの日常の様子を見せていただきながら、現場の教員等と一緒に考えることで、よりきめ細かく適切な支援に結び付けています。

◆教育相談センター（教育支援課）
042（438）4077

新・子ども記者コーナー⑧

このコーナーでは、市立小学校の児童が記者となって、「学校自慢」をテーマとした記事を紹介します。

緑と笑顔の柳沢小

柳沢小学校は、たくさんの緑と笑顔であふれています。

毎日、登校すると、ふかふかのしばふに気持ちのよい風がむかえてくれます。自まんの「ケヤキ」は、木かげで一休み。休み時間にしばふで走るのはとても楽しく、小さなバッタやトンボなども、季節によってたくさん見られます。春には、あちこちにある「ソメイヨシノ」などのサクラが満開できれいです。授業中にも、木を見て落ち着けます。また、柳沢小の子は、木の名前をよく知っているのも自まんです。

笑顔があふれているのは、たがいを思いやる仲間たちがいるからです。たてわり班などで、他学年とふれ合う機会も多く、小さな子にも優しい上級生がたくさんいます。先生たちも、楽しい人ばかりです。

柳沢小は、緑の中で笑顔あふれる自まんの小学校です。

◆柳沢小学校
6年　櫻木莉子

のびのび遊べるしばふの校庭

「あいさつ すごいぞ 上向台小」

1年生から6年生が元気に、「おはようございます。」といつも大きな声であいさつをしています。これはぼくが1年生の時からです。

校長先生は「上小のあいさつはすごい。」と言ってくれます。先生たちもあいさつがすごいです。ろう下ですれちがったら、必ずあいさつをしてくれます。近所のおじさん、おばさんたちもあいさつをしてくれます。

あいさつのすごい上向台小は、校長先生から完ぺきなあいさつのわざを教えてもらいました。それは「目を見て元気に」です。それを意識して生活しています。

今年から、さらに努力していることは、その一、あいさつ当番。全学年交代で校門に立ち、あいさつでむかえます。その二、6年生によるあいさつ運動。全校朝会で6年生に合わせて元気にあいさつをします。

これを完ぺきにできれば「日本一あいさつのすごい学校だ。」とぼくは思います。これを目標に、日々努力してがんばっています。

◆上向台小学校
5年　山口大豪

朝のあいさつ当番

市では防災行政無線を利用して児童の安全確認の呼びかけをしています。地域の防犯対策へのご理解、ご協力をお願いいたします。